

(仮称) 周南市公共施設再配置計画(案)に関する要望決議

本市は合併前の全ての公共施設をそのまま引き継いだこと、また今後の人口減少や厳しい財政状況から、公共施設再配置計画策定の背景及び必要性は、議会としても十分理解はしている。

しかるに、本計画案は市のまちづくり総合計画や重要施策との整合性が明確ではなく、対象施設の具体的な検証は、歴史・自然・文化・風土という地域性への配慮が不足している。また、基本方針、対象施設の検証結果及び再配置計画案が同時に公表されたことにより、市民の間に無用の混乱を招いている。さらに、本計画案は3月には決定するというスケジュールとも相まって、性急に過ぎており、現在のところ議会としても憂慮にたえないところである。

一方、市は再配置計画に基づく個別計画策定に当たっては、市民参画や意見聴取などの手法を活用し進めていくとしているが、そもそも再配置計画策定に関してシセツ・カルテの積極的な説明や利用者満足度調査などさえ実施しておらず、市民に対する説明責任が十分に果たされているのか疑問である。

言うまでもなく、本計画は市民にとって将来のまちづくりの方向性を決定する大きな分岐点ともなるものである。

よって、下記により再考することを要望する。

記

- 1 元来、公共施設再配置は全庁にまたがる問題であり、執行部全体が一丸となって、現在及び将来にわたる市全体の施設や機能に関して、地域性への配慮や推進体制も含め検討すること。
- 2 本計画案が、市のまちづくり総合計画及び新駅ビルや新庁舎建設などの大型事業との整合性が図られていないことを認識し、そのことについて基本的な考え方を明確に示すこと。
- 3 市民の理解を得るため、公共施設の再配置が喫緊の重要課題として「今、なぜ必要なのか」という視点から、これまでの経緯、公共施設の現状と課題及び基本方針について、何よりもまず市民にわかりやすく説明すること。

以上、決議する。

平成25年1月22日

山口県 周南市議会